

作成日 2006年12月22日 作成者 稲谷 隆 確認日 2007年1月10日 確認者 大友 哲明

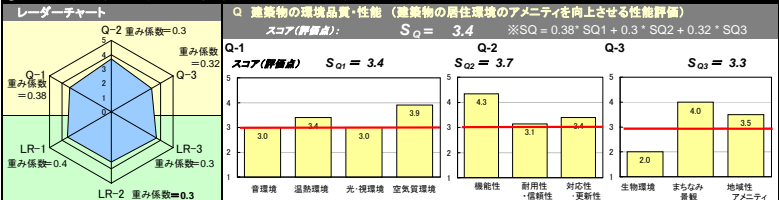
① 建築物概要

建物名称	サイレックス・テクノロジー新社屋			地域区分IV	外観・バース等
建物用途	事務所 工場				
建設地・気候区分	京都府相楽郡精華町				
地域・地区	準工業地域				
竣工年	2007年10月 予定	階数	地上3階		
敷地面積	11,195 m <sup>2</sup>	構造	RC造(一部S造)		
建築面積	2,581 m <sup>2</sup>	平均居住人員	275 人		
延床面積	6,334 m <sup>2</sup>	年間使用時間	3,500 時間/年		

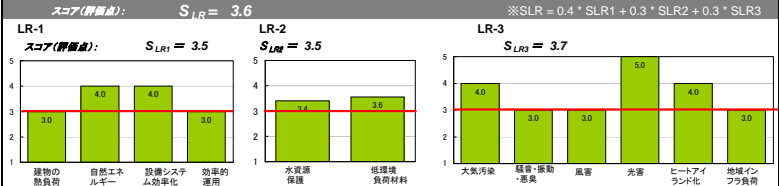
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

② 建築物の総合的な環境性能評価結果

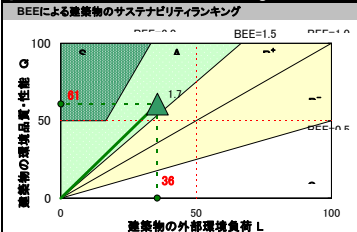
②-1 建築物の環境品質・性能と環境負荷低減性(評価分野毎)



LR 建築物の環境負荷低減性 (建築物の環境負荷を低減させる性能評価)



②-2 建築物の環境性能効率(BEE: Building Environmental Efficiency)



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の外部環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 * (S_Q - 1)}{25 * (5 - S_{LR})} = \frac{61}{36} = 1.7$$

Q = 25 \* (S<sub>Q</sub> - 1)    \*S<sub>Q</sub>: Score of Q category  
SQ = 0.38 \* SQ1 + 0.3 \* SQ2 + 0.32 \* SQ3

L = 25 \* (5 - S<sub>LR</sub>)    \*S<sub>LR</sub>: Score of LR category  
SLR = 0.4 \* SLR1 + 0.3 \* SLR2 + 0.3 \* SLR3

③ 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

③-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	10	20	30	40	50
運用エネルギー消費量	MJ/年m <sup>2</sup>	MJ/人時	MJ/年m <sup>2</sup>						
運用CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /人時	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>						
水消費量	m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup> /人時	m <sup>3</sup> /年m <sup>2</sup>						
LCCO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /人時	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>						
LC廃棄物量	t/年m <sup>2</sup>	t/人時	t/年m <sup>2</sup>						
LC資源消費量	t/年m <sup>2</sup>	t/人時	t/年m <sup>2</sup>						

③-2 デザインプロセスの評価

記載項目	
設計段階	
1 事業者による設計	
建設段階	
1 環境管理計画	

備考 注1: 評価結果の表示は①~②まで  
注2: 敷地選定に関わる評価は対象外。当該敷地に建てられる標準的な建築物の得点が3点、NAは評価対象外とした項目を示す。  
注3: ③の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。